



認証番号 0010912

2018年度 環境活動レポート

(対象期間：2018年8月1日～2019年7月31日)



株式会社 村田組

発行日：2019年10月21日

1. 組織の概要と対象範囲

(1) 事業者名及び代表者氏名

株式会社 村田組 代表取締役 村田 燐男

(2) 所在地

本社：兵庫県伊丹市西台 2-7-2

神戸支店：兵庫県神戸市東灘区本山中町 2-6-20

アコースタワー神戸本山 305 号

大阪支店：大阪市淀川区西中島 3-11-26

Aurora ビル新大阪 508 号

資材事務所：兵庫県伊丹市桑津 3 丁目 217-3

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 総務部主任 樽井 竜二

環境管理担当者 総務部主任 樽井 竜二

連絡先：TEL 072-777-7788 FAX 072-777-7787

(4) 認証・登録範囲

事業活動内容：土木工事業（土木一式工事、橋梁補修・補強工事）

対象事業所：本社、神戸支店、大阪支店、資材事務所

(5) 事業規模

年間売上高 1,012 百万円（2018/8～2019/7）

	本社	神戸支店	大阪支店	資材事務所	合計
総従業員 2019.4.1 現在	21 人	(無人) 本社と兼務	(無人) 本社と兼務	無人	21 人
延べ床面積	206.4 m ²	17.9 m ²	21 m ²	44 m ²	289.3 m ²
敷地面積	170.7 m ²	127.8 m ²	21 m ²	1004 m ²	1323.5 m ²

(6) 建設現場等の概要（2018/8～2019/7）

元請工事 2 件

下請工事 22 件

(7) 事業年度 8 月～翌年 7 月

2. 主な環境負荷の実績 (2018年度)

項目	単位	環境負荷の実績	主なもの
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	79,430	電力・ガソリン・重機燃料
廃棄物排出量	トン	14.435	
一般廃棄物	トン	0.445	
産業廃棄物	トン	13.99	コンガラ・アスガラ 733.4tを除く
総排水量	m ³	259	工事用水を除く

電力の二酸化炭素排出係数 ; 0.509 kg-CO₂/kWh

(2017年度)

項目	単位	環境負荷の実績	主なもの
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	81,260	電力・ガソリン・重機燃料
廃棄物排出量	トン	6.946	
一般廃棄物	トン	0.446	
産業廃棄物	トン	6.50	コンガラ・アスガラ 609.42tを除く
総排水量	m ³	276	工事用水を除く

電力の二酸化炭素排出係数 ; 0.509 kg-CO₂/kWh

(2016年度)

項目	単位	環境負荷の実績	主なもの
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	88,859	電力・ガソリン・重機燃料
廃棄物排出量	トン	17.49	
一般廃棄物	トン	0.57	
産業廃棄物	トン	16.92	コンガラ・アスガラ 174.98tを除く
総排水量	m ³	324	工事用水を除く

電力の二酸化炭素排出係数 ; 0.509 kg-CO₂/kWh

3. 環境方針

株式会社 村田組 環境方針

株式会社 村田組は地球環境の保全を最重要課題のひとつである事を認識し、環境負荷の低減に積極的に努め、「自然環境との調和、地域社会への貢献」を創造する新しい建設事業を目指します。

1. 建設事業に伴う環境負荷の低減に努めます。
 - (1) 電力及び燃料の使用による二酸化炭素排出量の削減
 - (2) 排水量の削減
 - (3) 廃棄物排出量の削減

2. 建設事業を通じて環境改善に努めます。
 - (1) 環境に配慮した技術の導入、提案、施工
 - (2) 事務用品等のグリーン購入拡大への取組

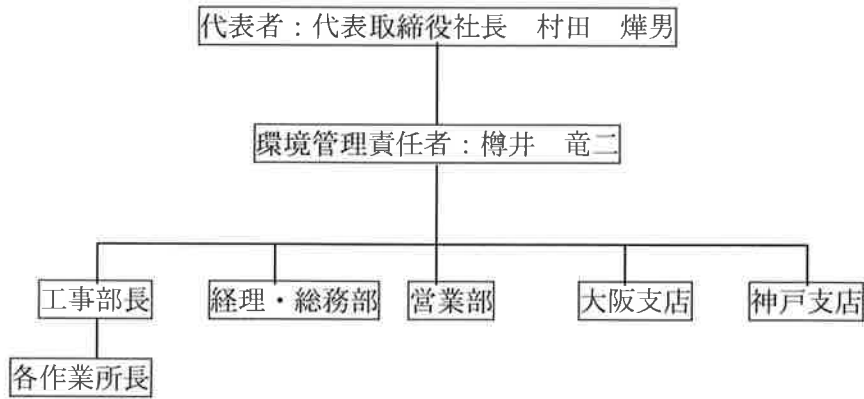
3. 関係する環境法規等及び地域社会との協調を遵守します。

4. 本方針を全従業員及び協力会社社員に周知させ、社外へも公開します。

制定日：2015年5月1日
株式会社 村田組
代表取締役 村田燦男

4. 推進組織図

【株式会社 村田組 環境経営システム推進組織図】



【適用範囲】

株式会社 村田組本社、神戸支店、大阪支店、資材事務所、及び建設現場

【役割・責任・権限】

	役割・責任・権限
代表者(社長)	①代表者として環境経営全般に関して責任と権限をもつ ②環境方針を策定し、従業員に周知させる ③資源(人・もの・金)の用意をする ④エコアクション21全体の取組状況に関し評価、見直しを実施する ⑤環境管理責任者、環境委員等を任命する
環境管理責任者	①エコアクション21建設業向けガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し、実行し、環境面の実績を向上させる ②上記の結果を社長に報告する ③EA21文書類の承認をする ④環境委員会の委員長としてEMS全般の舵取りを行い、実行を推進する
部門長及び全従業員	①自部門の環境目標、環境活動計画の達成と実績の把握を行う。 ②環境方針、自部門の環境目標、環境活動計画を部門全員に周知する ③自部門に関連する法規制等を順守する ④自部門の教育・訓練を実施する ⑤社内外の環境情報の収集と伝達をする ⑥自部門の緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する
作業所長	① 作業所におけるEA21実行責任者を兼ねる。 ② 作業所の環境目標、活動計画の達成と実績の把握を行う。ほか

5. 環境目標とその実績

当社における環境目標とその実績は以下のとおりです。

No	環境目標	基準年度 14～16平均値	2018年度（2018年8月～2019年7月）			2017年度 目標	2018年度 目標	2019年度 目標
			目標	実績	（達成率）			
1	電気使用量の削減 （※1）	11,598 kg-CO2	11,366	10,447	108%	11,482 ▲1%	11,366 ▲2%	11,250 ▲3%
		22,786 kWh	22,330	20,524		22,558 ▲1%	22,330 ▲2%	22,102 ▲3%
2	ガソリン使用量の削減	55,627 kg-CO2	54,514	44,731	121%	55,071 ▲1%	54,514 ▲2%	53,958 ▲3%
		23,960 ℓ	23,480	19,267		23,720 ▲1%	23,480 ▲2%	23,241 ▲3%
3	軽油使用量の削減	26,278 kg-CO2	25,752	24,252	106%	26,015 ▲1%	25,752 ▲2%	25,489 ▲3%
		10,013 ℓ	9,812	9,241		9,912 ▲1%	9,812 ▲2%	9,712 ▲3%
	二酸化炭素排出量の合計 （※参考値）	93,503 kg-CO2	91,632 kg-CO2	79,430 kg-CO2	115%	92,568 kg-CO2	91,632 kg-CO2	90,697 kg-CO2
4	事務所の総排水量削減	370 m3	362	259	139%	366 ▲1%	362 ▲2%	358 ▲3%
5	産業廃棄物リサイクル率 コンガラ・アスガラを除く （※3）	6.7 %	8.7	15.4	177%	7.7 +1%	8.7 +2%	9.7 +3%
6	一般廃棄物排出量の削減	0.550 t	0.540	0.445	121%	0.544 ▲1%	0.540 ▲2%	0.533 ▲3%
7	事務用品のグリーン購入推進 （※2）	32.7 %	34.7	35.5 %	102%	33.7% +1%	34.7% +2%	35.7% +3%
8	環境に配慮した技術の導入 提案、施工	2 件	2	3	150%	2件 —	2件 —	2件 —
9	地域清掃等の社会貢献活動	年2 回	2	5	250%	2回 —	2回 —	2回 —

※1：電力の二酸化炭素係数：0.509kg-CO2/Kwh

※2：グリーン購入額（317,014円）÷全購入額（893,221円）＝グリーン購入比率（35.5%）

※3：産業廃棄物のリサイクル向上 再生量（2.16t）÷発生量（13.99t）＝15.4%

再生量（735.58t）÷発生量（747.41t）＝98.4% ※コンガラ・アスガラ含む

6. 主要な環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

NO	環境目標 (環境方針との関連)	環境活動計画の概要	取組結果の評価 2018年8月1日～2019年7月31日		次年度の 取組内容
			目標	実績	
①	電力使用量の削減 (CO2 排出量削減)	<ul style="list-style-type: none"> ● 空調設定温度の励行 ● 節電 ● クールビズ・ウォームビズの徹底 	目標 11,366 kg-co2 実績 10,447 kg-co2 達成率 108% (○)	前回、未達成であった為、通常以上に節電意識を持って取り組んだ結果だと思う。	<ul style="list-style-type: none"> ● 更なる節電意識を高める為、新たな節電方法を模索する。
②	ガソリン使用量の削減 (CO2 排出量削減)	<ul style="list-style-type: none"> ● アイドリングストップの実施 ● 急発進・急停車をしない ● エコドライブの徹底 ● エアコンの使用を抑える ● タイヤの空気圧の確認 	目標 54,514 kg-co2 実績 44,731 kg-co2 達成率 121% (○)	エコドライブの意識が浸透した結果だと思う。	<ul style="list-style-type: none"> ● 各車種の燃費を把握し、現場距離に応じた車の選定を行う様にする。
③	軽油使用量の削減 (CO2 排出量削減)	<ul style="list-style-type: none"> ● 作業の停止時はエンジンを切る ● エアコンの使用を抑える ● 低騒音・低振動型機械の使用 ● 過剰な負担をかけない ● 作業効率を見直す 	目標 25,752 kg-co2 実績 24,252 kg-co2 達成率 106% (○)	現場での重機稼働数で変動が多きく平均化をとる事を考える必要があると思う。	<ul style="list-style-type: none"> ● 重機稼働数に影響を受けない運用方法を模索する。
④	事務所の総排水量削減	<ul style="list-style-type: none"> ● 節水意識の向上 ● 帰社時、締栓の徹底、漏水の確認 	目標 362 実績 259 達成率 139% (○)	飲料水(主にホット用)に備蓄用飲料水を転用した影響が大きかったと思う。	<ul style="list-style-type: none"> ● 当面活動を継続する。
⑤	産業廃棄物排出量の リサイクル率 (コンガラ・アスガラを除く)	<ul style="list-style-type: none"> ● 産業廃棄物管理徹底 ● 建設現場での分別強化 	目標 8.7% 実績 15.4% 達成率 177% (○)	主に鉄くずの再利用のウエイトが高かった影響が大きかったと思う。	<ul style="list-style-type: none"> ● 引き続き活動を継続するとともに、リサイクル分別の種類について検討を行う。
⑥	一般廃棄物排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ● 事務所で排出されるゴミの削減意識 ● 印刷時、裏紙を積極的に使用する。 ● 印刷プレビューの徹底 	目標 0.540t 実績 0.445 達成率 121% (○)	ゴミの削減意識向上や紙の削減(PDFなどの電子資料)を使用した結果だと思う。	<ul style="list-style-type: none"> ● 当面活動を継続して定着させる
⑦	事務用品のグリーン購入推進 (グリーン購入)	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境ラベル認定製品の優先購入 	目標 34.7以上 実績 35.5 達成率 102% (○)	グリーン購入を優先した結果だと思う。	<ul style="list-style-type: none"> ● 当面活動を継続して定着させる
⑧	環境に配慮した技術の 導入、提案、施工	<ul style="list-style-type: none"> ● 現場周辺の環境に留意する。 ● 環境配慮型の重機を用いる。 	目標 年2件 実績 年3件 達成率 150% (○)	現場での濁水プラントの利用、集塵機付きエンジンカッターの利用を行った。	<ul style="list-style-type: none"> ● 当面活動を継続して定着させると共に他の方法も模索する。
⑨	地域社会との協調	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域清掃等の社会貢献活動 	目標 年2回 実績 年5回 達成率 250% (○)	公園・河川の清掃活動に参加した。	<ul style="list-style-type: none"> ● 当面活動を継続して定着させる

(注 ○目標達成 × 目標未達成)

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 当社に適用される環境関連法規の遵守状況

下記の通り環境関連法規及び条例等を事業所、建設現場ともに遵守しており、違反はありません。また関係当局より違反等の指摘も過去5年間ありません。

No.	適用される法律名	順守すべき内容	遵守状況
1	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	収集運搬・処分業者との適正な契約 マニフェスト伝票の管理 (A, B ₂ , D, E) 廃棄物置場の表示と保管基準の遵守 自社専用の収集運搬業の許可期限 大阪府 平成 33 年 9 月 6 日 兵庫県 平成 33 年 9 月 8 日	遵守 遵守 遵守 確認
2	騒音規制法	特定建設作業の届出 敷地境界線での規制基準 (騒音) 85 dBの遵守	遵守
3	振動規制法	特定建設作業の届出 敷地境界線での規制基準 (振動) 75 dBの遵守	遵守
4	兵庫県環境の保全と創造に関する法律	特定工作物解体工事の届出	該当無
5	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律	対象建設工事の届出 再資源化の完了報告	遵守
6	自治体との災害協定	災害発生時に応援派遣する	要請無
7	消防法	消火器の設置	遵守
8	伊丹市火災条例	少量危険物及び指定可燃物の保管の届出	該当無
9	フロン排出抑制法	簡易点検の実施 簡易点検記録簿の保管	遵守 遵守

(2) 環境関連訴訟等の有無

環境関連訴訟等に関して過去5年間に1件も発生しておりません。

8. 代表者による全体評価と見直しの結果

目標数値を変更してから2年目を迎え、思ったより良好なデータが出ており一安心している所であります。毎週行う工程会議の場でもプロジェクターを使用し、視覚的に現場の状況を皆で確認できる事から、各現場特情において環境に対するリスクやその対処方法などを職員全員で共有でき、職員の環境に対する意識統一が図れた事は非常に大きな成果だと思います。ただ、厳しい基準に変更した中、全項目で数値をクリアした事に対して若干懐疑的な部分もある事から、次年度の中間報告を踏まえ、今一度、運用方法について全般的な見直しを指示したいと思います。